

2021年度

# えんていっしん 1 4月30日



**遊び = 学び」が注目されています！**  
**今年も、こどもたちにすてきな遊び環境を。**

4月2日、教育大生がアルバイトで園庭の雪を割ってくれたおかげで、膨大な雪もやっとゼロに。4月14日・15日の二日間、専門家による安全チェックに何とか間に合いました！何トンもの雪の重みがかかったのに、ほとんどの遊具はガッチリ。「すごい！びくともしていない！」設計してくれた井上先生もびっくり。ただ、築山の雪解けで土が引っ張られて2、3本、柱がずれていたところがありました。

また、面白かったのは、同じ構造のテーブルやストライダー車庫でも、平らな場所に立っていたものは大丈夫でしたが、ゆるい傾斜地に建てていたものは雪の力でペしゃんこにつぶれていたのです。みんなで組み立て直しました。本当に今年の雪は大変でしたね！



一つ一つ丹念に調べ、部材を替えたりゆるみを直したりして万全に整えました。

## 講師の先生のご紹介



### 井上 寿先生

一級建築士  
 子供環境アドバイザー  
 関東学院大学・流通経済大学非常勤講師  
 全国の保育施設・学校、園庭や遊具を設計

今回は、かわいいおうちを二つ、設計してくれました。そのうち一つは、一本橋に合わせて図面無しのライブ設計でした。

### 木村 歩美先生

保育環境研究家  
 おおぞら教育研究所代表  
 全国各地の保育園・こども園・幼稚園で講師を務める。



今回は先生方の研修もお願いしました。子どもたちにどんな経験をさせたいか、そのための環境づくりをどう進めるか、全国の例を見せてもらいながら学びました。

幼稚園では、2016年度から子供の遊び環境について研修を重ねてきました。本当の意味で「子ども主体」を実現する環境について、保護者のみなさんにも参加してもらいながら学んできました。そして実際に自分たちの手でコツコツ作ってきました。

「もの」だけではなく、「考え方」「見守り方」「大人が気が付いて整備するべきこと」「環境によって子どもにどんな力がつくのか」などソフトの部分も積み上げてきたのです。それによって、「こどもは本来自分で考えて行動する力を持っている」と信頼し、先生たちが指示や命令をしなくても、自分でどんどん遊び（学び）を展開する子どもたちが育っています。



ちっちゃい子でも登れるハウスができましたよ！  
 キタローハウスの弟分、キジローハウスです。

一本橋の下のカフェもかっこよくなりました。設計しながら作るスゴ技を目の前で体験！ぜひいつか皆さんとも！